

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成20年8月11日
【四半期会計期間】	第63期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北村 健
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 北村 倍章
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務担当 北村 倍章
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第62期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高(千円)	2,017,685	8,333,449
経常利益(千円)	117,332	477,441
四半期(当期)純利益(千円)	53,148	262,742
純資産額(千円)	9,582,841	9,560,593
総資産額(千円)	13,081,005	13,016,493
1株当たり純資産額(円)	899.54	897.39
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	4.99	24.66
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)		
自己資本比率(%)	73.3	73.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	191,774	588,537
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	28,196	365,247
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	48,918	109,184
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,227,021	1,439,517
従業員数(人)	211	206

(注) 1. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりませ
 ん。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	211	[26]
---------	-----	------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の[]は、臨時従業員数を外書しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	208	[10]
---------	-----	------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。就業人員には、当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含みますが、いずれも該当はありません。

2 従業員数の[]は、臨時従業員数を外書しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
塗料事業(千円)	967,440
合計(千円)	967,440

- (注) 1 金額は標準製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

商品仕入実績

当第1四半期連結会計期間の商品仕入実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
塗料事業(千円)	370,592
合計(千円)	370,592

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

主として見込生産によっておりますので、受注ならびに受注残高について特に記載すべき事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績は次のとおりであります。

事業部門の名称	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
塗料事業(千円)	2,017,685
合計(千円)	2,017,685

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題の長期化による米国経済の減速が明確になりつつあり、また、原油・原材料価格の一層の高騰や不動産市況の低迷の影響を受け、景気の先行き不透明感が増しております。

このような環境のもと、当社グループは、営業力の強化および生産性の向上や合理化などの経営構造改革に注力するとともに、お客様の支持を得る環境対応商品の開発や新市場の開拓に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は、20億1千8百万円となりました。また、収益面におきましては、営業利益は8千8百万円、経常利益は1億1千7百万円となり、四半期純利益は5千3百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、総資産は6千5百万円増加、負債は4千2百万円増加、純資産は2千2百万円増加しました。

総資産の増加の主なものは投資有価証券1億7千6百万円、流動資産のその他2億2千8百万円で、減少の主なものは現金及び預金2億1千2百万円、有価証券2億1百万円であります。

負債の増加の主なものは未払金2億1千1百万円、減少の主なものは賞与引当金8千2百万円であります。また、純資産の増加の主なものは、其他有価証券評価差額金2千3百万円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億1千2百万円減少し、12億2千7百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は、1億9千2百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益の1億1千6百万円、減少した資金では賞与引当金8千2百万円、法人税等の支払額1億3千万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により増加した資金は、2千8百万円となりました。

その主な要因は、増加した資金では有価証券および投資有価証券の売却及び償還による3億円、減少した資金では投資有価証券の取得による2億3千8百万円、保険積立金の積立による3千2百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、4千9百万円となりました。

その主な要因は、配当金の支払額4千9百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3千4百万円であります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末の経常的な設備の更新計画を除き、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成20年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	-
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
 ん。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成20年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,347,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,521,000	10,521	-
単元未満株式	普通株式 132,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	10,521	-

【自己株式等】

平成20年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,347,000	-	1,347,000	11.22
計	-	1,347,000	-	1,347,000	11.22

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月
最高(円)	326	310	306
最低(円)	302	292	280

(注) 最高・最低株価は、大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,807,021	3,019,517
受取手形	1,521,519	1,439,834
売掛金	1,155,310	1,215,119
有価証券	-	200,500
商品	385,187	402,063
製品	627,597	590,561
原材料	179,791	188,866
仕掛品	63,424	69,112
貯蔵品	51,373	44,552
繰延税金資産	87,802	105,860
その他	261,623	34,117
貸倒引当金	72,000	87,000
流動資産合計	7,068,647	7,223,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,671,950	1,671,950
減価償却累計額	960,022	948,277
建物及び構築物(純額)	711,928	723,673
機械装置及び運搬具	304,538	304,255
減価償却累計額	244,772	241,104
機械装置及び運搬具(純額)	59,766	63,151
工具、器具及び備品	373,258	372,759
減価償却累計額	305,349	300,217
工具、器具及び備品(純額)	67,909	72,542
土地	942,194	942,194
リース資産	64,859	-
減価償却累計額	5,683	-
リース資産(純額)	59,176	-
有形固定資産合計	1,840,973	1,801,560
無形固定資産		
ソフトウェア	19,880	-
施設利用権	10,243	-
電話加入権	6,121	-
リース資産	6,112	-
その他	-	38,045
無形固定資産	42,356	38,045
投資その他の資産		
投資有価証券	2,421,160	2,244,676
保険積立金	1,367,534	1,335,690
繰延税金資産	260,831	298,134
その他	80,504	76,287
貸倒引当金	1,000	1,000
投資その他の資産合計	4,129,029	3,953,787
固定資産合計	6,012,358	5,793,392
資産合計	13,081,005	13,016,493

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	505,154	494,805
買掛金	1,408,129	1,412,917
リース債務	24,896	-
未払金	366,241	154,812
未払法人税等	11,006	119,966
未払消費税等	27,242	17,352
前受金	1,056	35
預り金	70,527	56,795
賞与引当金	34,137	115,961
役員賞与引当金	-	12,500
設備関係支払手形	1,903	11,112
流動負債合計	2,450,291	2,396,255
固定負債		
リース債務	40,392	-
長期預り保証金	209,311	206,371
繰延税金負債	10,291	8,270
退職給付引当金	639,854	646,550
役員退職慰労引当金	148,025	198,454
固定負債合計	1,047,873	1,059,645
負債合計	3,498,164	3,455,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,160	1,210,193
利益剰余金	7,486,144	7,486,259
自己株式	535,481	535,320
株主資本合計	9,451,223	9,451,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	130,668	108,120
評価・換算差額等合計	130,668	108,120
少数株主持分	950	941
純資産合計	9,582,841	9,560,593
負債純資産合計	13,081,005	13,016,493

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,017,685
売上原価	1,405,222
売上総利益	612,463
販売費及び一般管理費	524,166
営業利益	88,297
営業外収益	
受取利息	3,767
有価証券利息	10,498
受取配当金	3,943
受取賃貸料	3,086
塗装情報サービス会費	3,492
その他	5,208
営業外収益合計	29,994
営業外費用	
支払利息	298
支払補償費	282
為替差損	378
その他	1
営業外費用合計	959
経常利益	117,332
特別利益	
貸倒引当金戻入額	15,000
特別利益合計	15,000
特別損失	
役員退職慰労金	16,080
特別損失合計	16,080
税金等調整前四半期純利益	116,252
法人税、住民税及び事業税	21,367
法人税等調整額	41,719
法人税等合計	63,086
少数株主利益	18
四半期純利益	53,148

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	116,252
減価償却費	22,345
退職給付引当金の増減額(は減少)	6,696
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	50,429
賞与引当金の増減額(は減少)	81,823
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,500
貸倒引当金の増減額(は減少)	15,000
受取利息及び受取配当金	18,208
支払利息	298
為替差損益(は益)	378
売上債権の増減額(は増加)	21,876
たな卸資産の増減額(は増加)	12,218
仕入債務の増減額(は減少)	3,648
未払消費税等の増減額(は減少)	9,890
その他	1,660
小計	71,575
利息及び配当金の受取額	10,425
利息の支払額	298
法人税等の支払額	130,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	191,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却及び償還による収入	200,000
有形固定資産の取得による支出	782
投資有価証券の取得による支出	238,272
投資有価証券の売却及び償還による収入	100,000
保険積立金の積立による支出	31,844
その他	906
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,196
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の純増減額(は増加)	194
配当金の支払額	48,715
少数株主への配当金の支払額	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,918
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	212,496
現金及び現金同等物の期首残高	1,439,517
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,227,021

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	(1)重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 棚卸資産の評価基準及び評価方法については、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、次のとおり変更しております。 製品・仕掛品 総平均法による原価法から総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) 商品・原材料・貯蔵品 先入先出法による原価法から先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法) これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

	<p>当第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)</p>
	<p>(2)リース取引に関する会計基準の適用 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を、当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。</p> <p>リース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料期末残高相当額(利息相当額控除後)を取得価額としてリース資産を計上する方法によっております。</p> <p>また、少額リース資産、短期リース資産等については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。</p>

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高は6,608千円となっております。	輸出貿易信用状取引における銀行間決済未済の銀行手形買取残高は12,099千円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
運送費	55,737千円
宣伝費	55,286千円
役員報酬	21,535千円
従業員給料	164,603千円
賞与及び賞与引当金繰入額	45,513千円
福利厚生費	38,825千円
役員退職慰労引当金繰入額	3,011千円
退職給付費用	14,884千円
減価償却費	18,181千円
支払手数料	33,224千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
(平成20年6月30日現在)	
現金及び預金勘定	2,807,021千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,580,000千円
現金及び現金同等物	1,227,021千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
 普通株式 12,000,000株

2. 自己株式の種類及び総数
 普通株式 1,347,981株

3. 新株予約権等に関する事項
 該当事項はありません。

4. 配当に関する事項
 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	53,263	5	平成20年3月31日	平成20年6月30日

5. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項
 該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社グループは各種塗料の製造・販売を主事業としておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める塗料事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社グループは、デリバティブ取引を全く利用しておりませんので、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末 (平成20年 3 月31日)
1 株当たり純資産額 899.54 円	1 株当たり純資産額 897.39 円

(注) 1 株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末 (平成20年 3 月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	9,582,841	9,560,593
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	950	941
(うち少数株主持分)	(950)	(941)
普通株式に係る四半期末 (期末) の純資産額 (千円)	9,581,891	9,559,652
1 株当たり純資産額の算定に用いられた四半期 末 (期末) の普通株式の数 (株)	10,652,019	10,652,687

2 . 1 株当たり四半期純利益

当第 1 四半期連結累計期間 (自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益 4.99 円 なお、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1 株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 1 四半期連結累計期間 (自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益	
四半期純利益 (千円)	53,148
普通株主に帰属しない金額 (千円)	
普通株式に係る四半期純利益 (千円)	53,148
期中平均株式数 (株)	10,652,353

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月8日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 竹村 明 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 松嶋 秀行 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績並びに第1四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。